

令和3年度 石川県立医王特別支援学校

第1回公開校内研修会のご案内

学ぶことは生きること
～院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと～

- 講 師 昭和大学大学院保健医療学研究科
准教授 副島 賢和 氏
(そえじま まさかず)
- と き 令和3年8月27日(金)
Zoom開始 13:50
講演 14:00～16:45
- 開催方法等 ・Zoomによる講演とし、参加者は各校にて視聴
・各校のZoom利用が難しい場合は、本校会議室
(下記に記載)にて視聴(定員:先着15名)
- 対 象 ・県内の病弱特別支援学級及び院内学級担当教員
・病弱児童生徒が在籍する学級を担当する、県内の特別支援学
校及び高等学校教員
・同じく金沢市の小中学校教員 ・本校保護者

★参加ご希望の方は、7月20日(火)までに、所定の参加申し込み用紙(データ)を添付して、下記までメールでお申し込みください。(データが無い場合は、参加申し込み用紙の内容をメールに記載してください。)

★申込み及び問い合わせ先

石川県立医王特別支援学校 (金沢市岩出町ホー1)

TEL 076-257-0572

FAX 076-257-2417

Email iouxxs@ishikawa-c.ed.jp

講師プロフィール

副島賢和（そえじま まさかず）

- ・昭和大学大学院保健医療学研究科准教授、昭和大学附属病院内学級担当。
- ・学校心理士スーパーバイザー。
- ・ホスピタル・クラウンとして、ハンター・キャンベル・アダムス氏（米国）の活動に参加している。
- ・北海道・横浜こどもホスピスプロジェクト応援アンバサダー。
- ・TSURUMI・東京こどもホスピスアドバイザー

○略歴

1966年福岡県生まれ

1989年都留文科大学卒業後、25年間、東京都立小学校教諭として勤務。

1999年東京都の派遣研修で、在職のまま東京学芸大学大学院にて心理学を学ぶ。

2006年より8年間、品川区立清水台小学校さいかち学級(昭和大学病院内)を担当。

2009年ドラマ『赤鼻のセンセイ』（日本テレビ）のモチーフとなる。

2011年『プロフェッショナル仕事の流儀』（NHK総合）に出演し、大きな反響をよぶ。

2014年より現職。

○著書

「はなれていてもだいじょうぶ 今こそ伝えたい、院内学級で教員として学んだこと」(学研教育みらい)、

「あかはなそえじ先生のひとりじゃないよ ぼくが院内学級の教師として学んだこと」(学研プラス)、

「赤はな先生に会いたい！」(金の星社)、

「院内学級の子供たちが綴った命のメッセージ 心が元気になる学校」(プレジデント社)

本校地図

